

## ○大学院国際文化学研究所 カリキュラム・ポリシー

国際文化学研究所は、「高い異文化理解能力と自在なコミュニケーション能力を有し、豊かな学識と創造的な研究能力を備えた人材を育成する」ことを教育目標としている。この目標を実現するため、教育課程を以下の方針で編成・実施する。

### 博士課程前期課程

#### <文化関連専攻>

各領域（地域文化論系、異文化コミュニケーション論系）が開講する高度専門演習及び特殊講義を通して、個別地域の文化の特性や異文化間の関係性について幅広い知識を習得させ、複合体としての文化を多角的に探究する能力を育成する。

#### <グローバル文化専攻>

各領域（現代文化システム論系、言語情報コミュニケーション系、外国語教育系）が開講する高度専門演習及び特殊講義を通して、現代の社会的・文化的状況、言語情報コミュニケーションや外国語教育に関する幅広い知識を習得させ、グローバル社会の諸課題に取り組む能力を育成する。

また、研究科共通カリキュラムとして、アカデミック・スキル科目を配置し、情報処理能力や外国語能力の育成を図り、学生が研究を遂行するために必要な方法論を習得させる。さらに、指導教員が担当する研究指導演習科目を通して、高い専門性の上に立った学際的研究を行う能力を育成する。

### 博士課程後期課程

#### <文化関連専攻>

各領域（地域文化論系、異文化コミュニケーション論系）が開講する特別演習を通して、個別地域の文化の特性や異文化間の関係性を踏まえつつ、複合体としての文化の構造と動態を究明し、文化研究の先端的な領域を開拓する能力を育成する。

#### <グローバル文化専攻>

各領域（現代文化システム論系、言語情報コミュニケーション系、外国語教育系、及び連携講座(先端コミュニケーション論)）が開講する特別演習の履修を通して、グローバル化による文化の現代的位相、言語情報コミュニケーションや外国語教育に関する諸問題を探究し、現代世界を多角的に研究する能力を育成する。

また、研究科共通カリキュラムとして、指導教員による個別指導に加え、コース/プロジェクトによる集団指導体制を取り入れ、さらに、2年次、3年次への進級時、及び、3年次の11月に論文の公開審査を行うコロキウムⅠ～Ⅲを実施することにより、高度な専門性の上に立った領域横断的な研究を行う能力を体系的に育成する。